

2019年3月期 決算説明資料

2019年4月25日

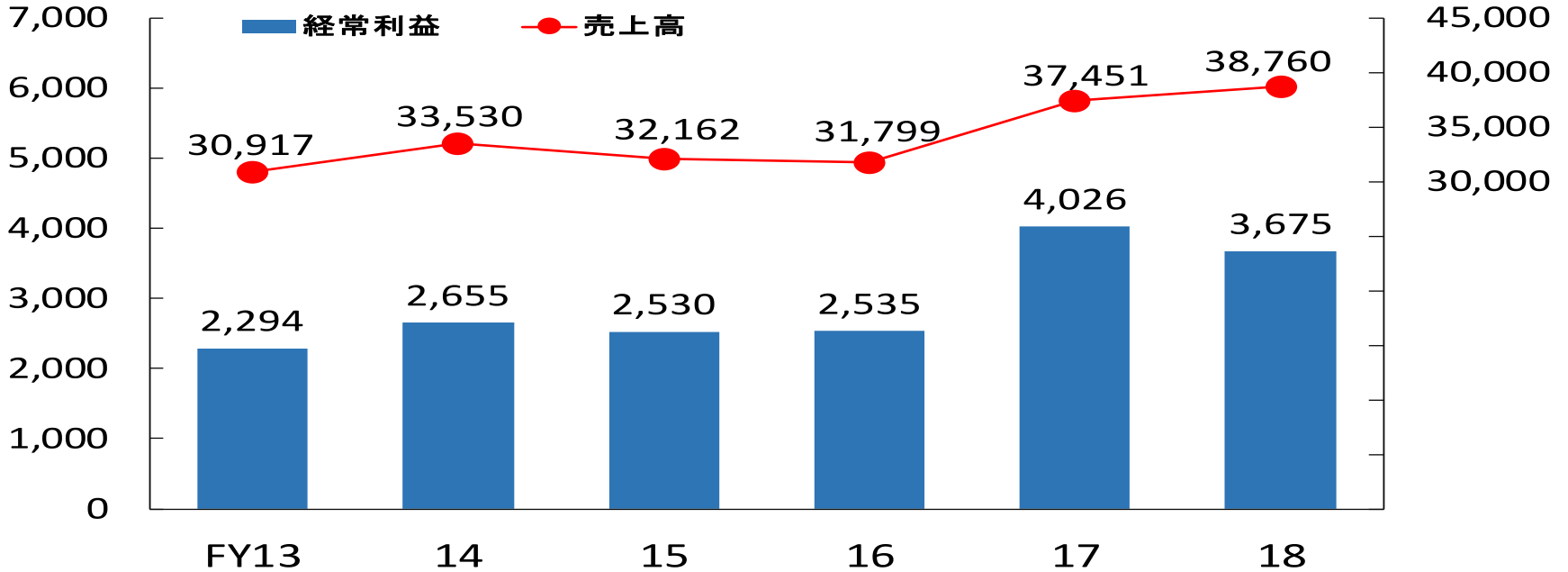
Micro&Fine Technology



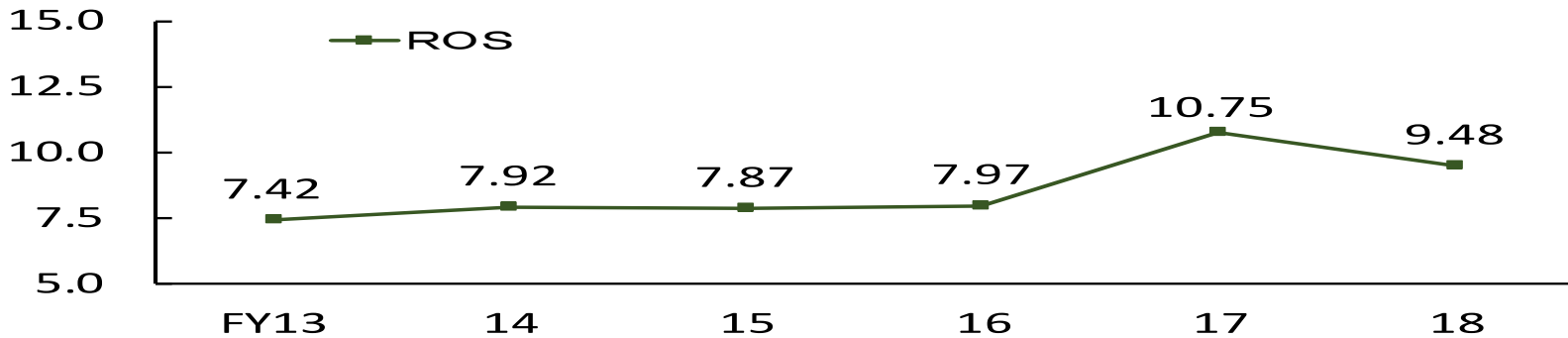
日本精線株式会社

連結売上高・経常利益推移

(百万円)

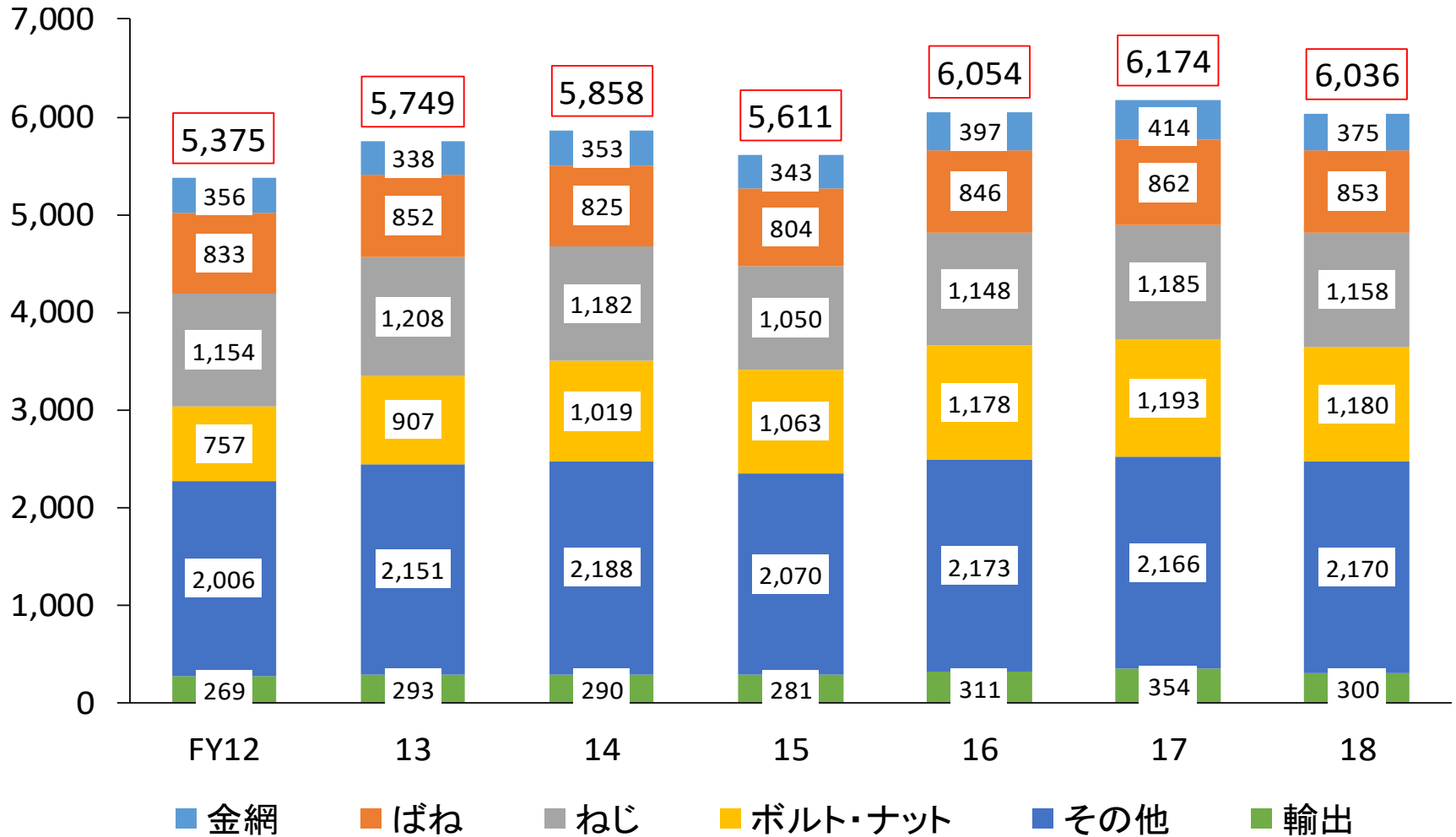


(%)



業界出荷数量の推移(ステンレス鋼線)

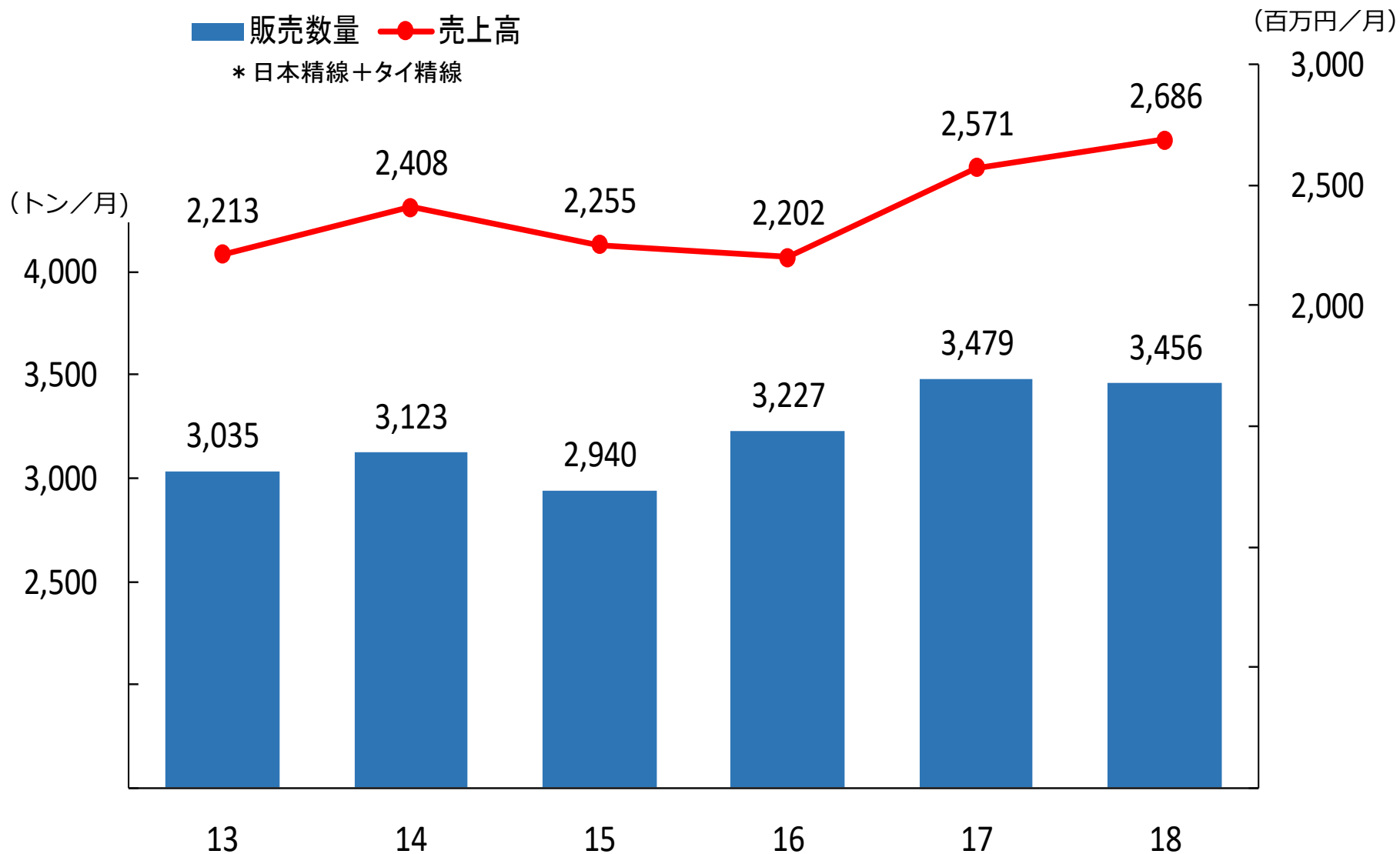
(トン/月)



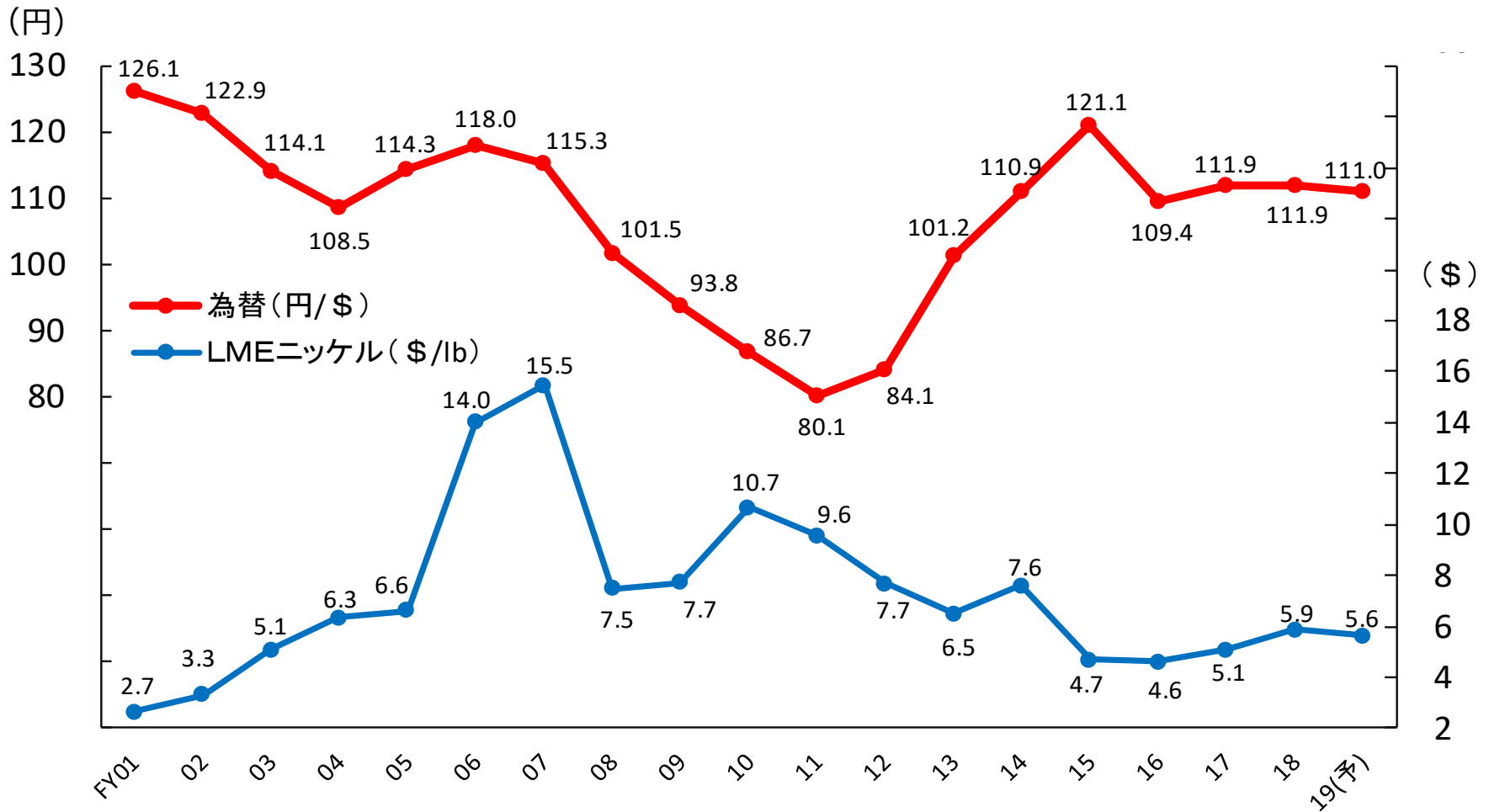
* 19年2月
までの実績

出所:ステンレス協会

部門別売上高の状況(ステンレス鋼線)



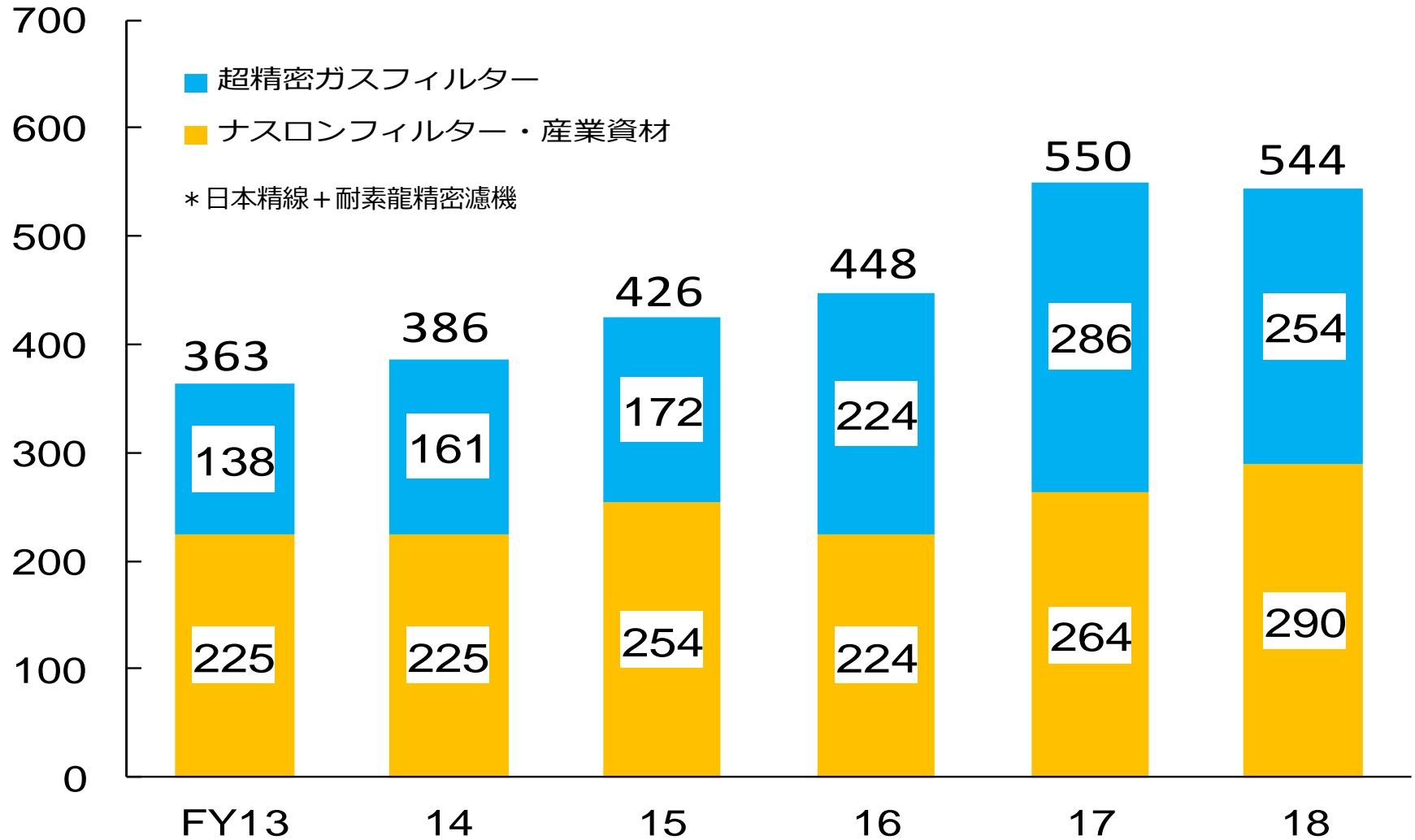
LMEニッケル価格・為替推移



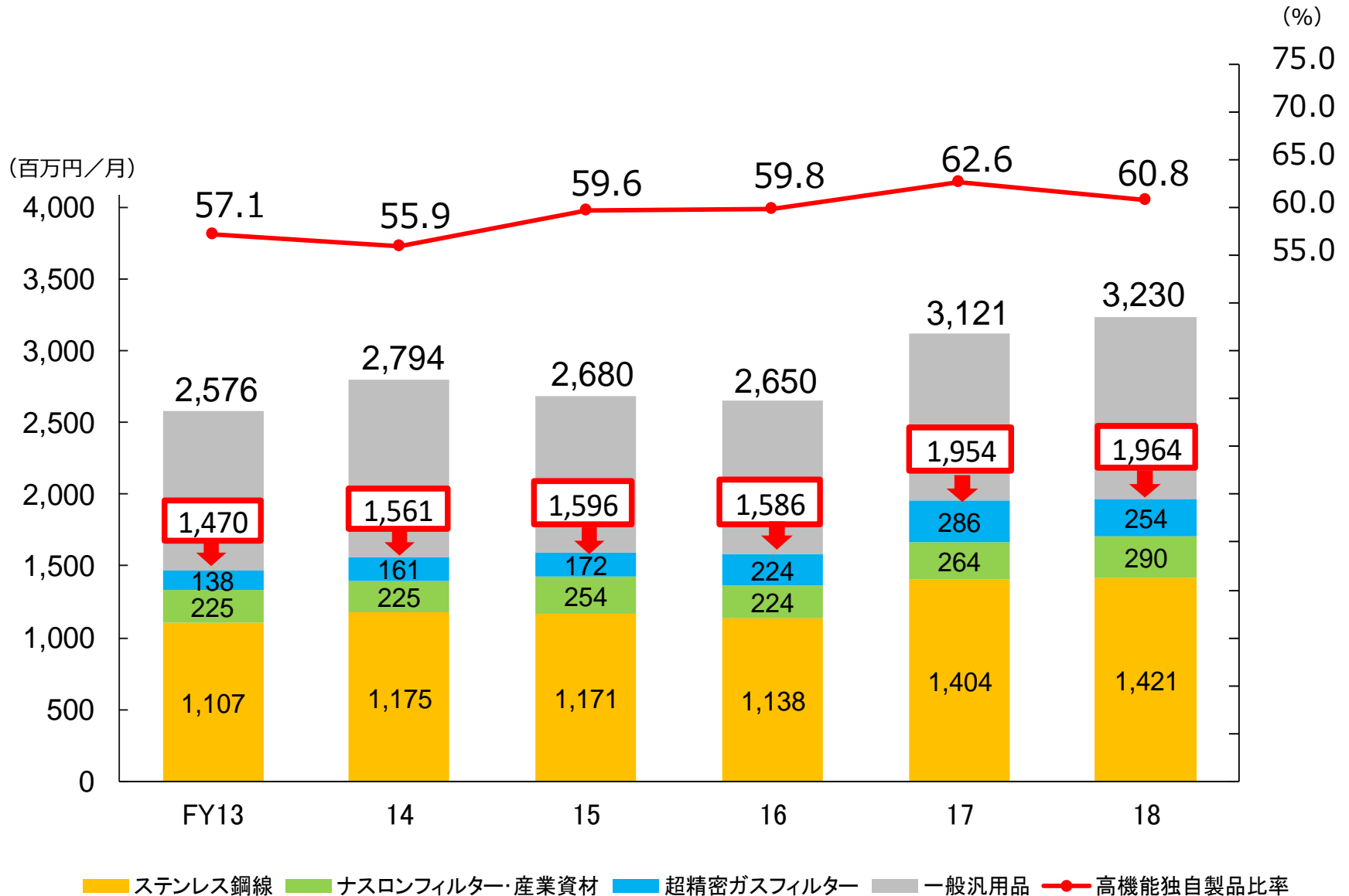
ニッケル価格は第2四半期以降、軟調傾向で一時4ドル台まで下落も、足元は6ドル弱まで上昇

部門別売上高の状況(金属繊維)

(百万円/月)



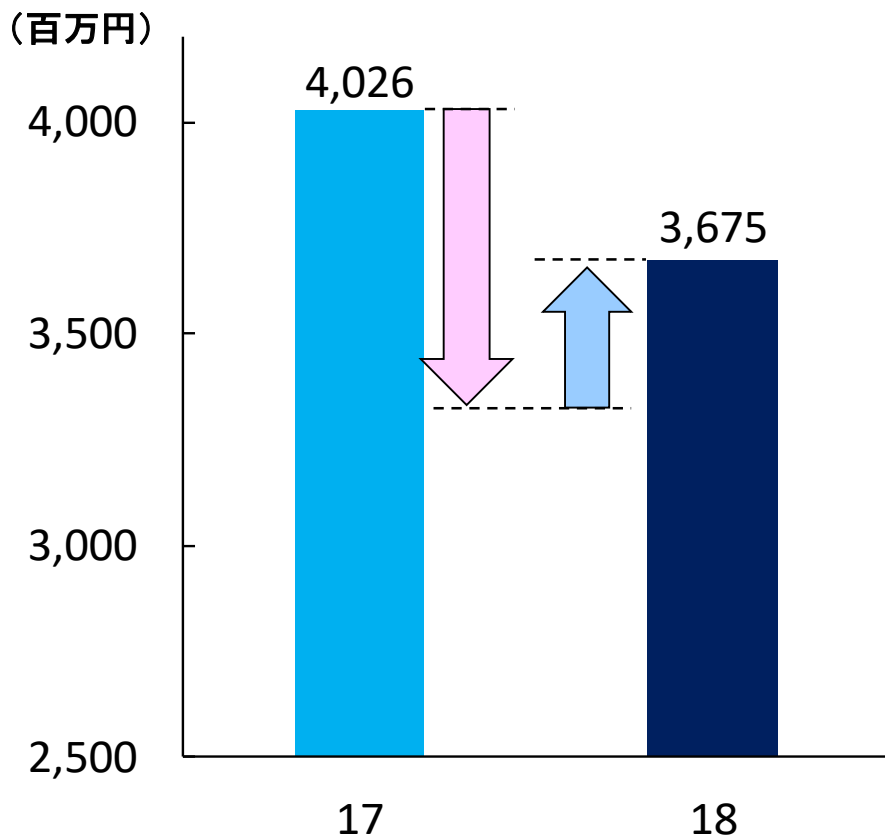
高機能・独自製品の売上高



経常利益の変化要因(前年対比)

【ロッド価格の前提】

	Ni(\$/lb)	為替(円/\$)
17年度	4.7	113.2
18年度	5.9	111.9



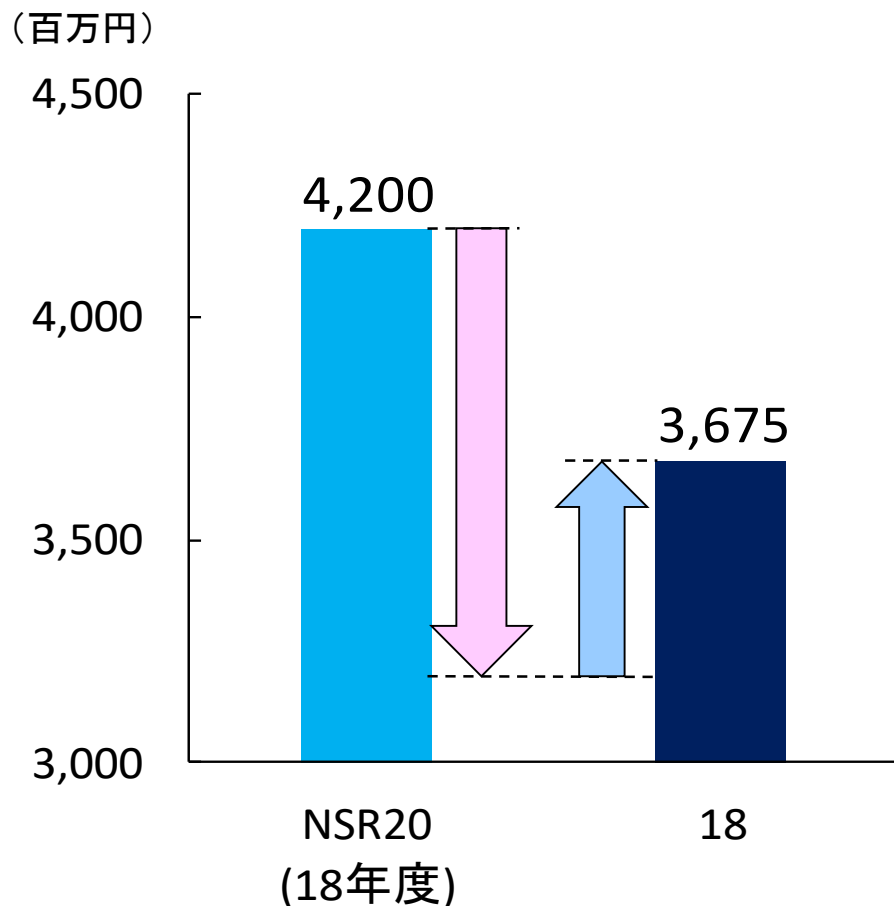
18年3月期経常利益		4,026		
対比変化	営業損益	Ni市況	-	+300
		数量変化	▲ 50	-
		内容差	▲ 49	-
		固定費	▲ 650	-
		合計	▲ 749	+300
	営業外損益	-	+98	
19年3月期経常利益		3,675(▲ 351)		

(百万円)

経常利益の変化要因(中期計画対比)

【ロッド価格の前提】

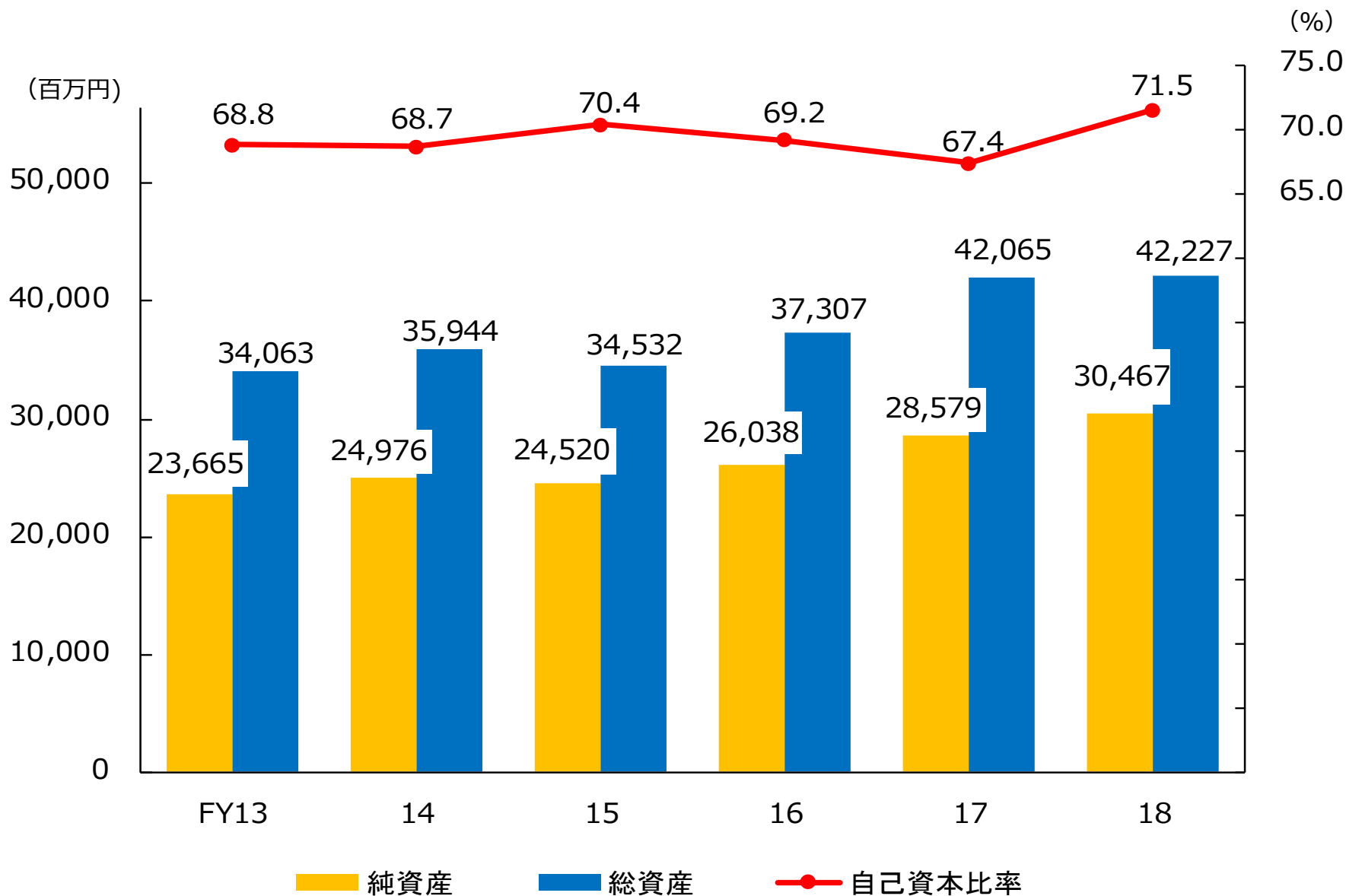
	Ni(\$/lb)	為替(円/\$)
NSR20	6.1	109.4
18年度	5.9	111.9



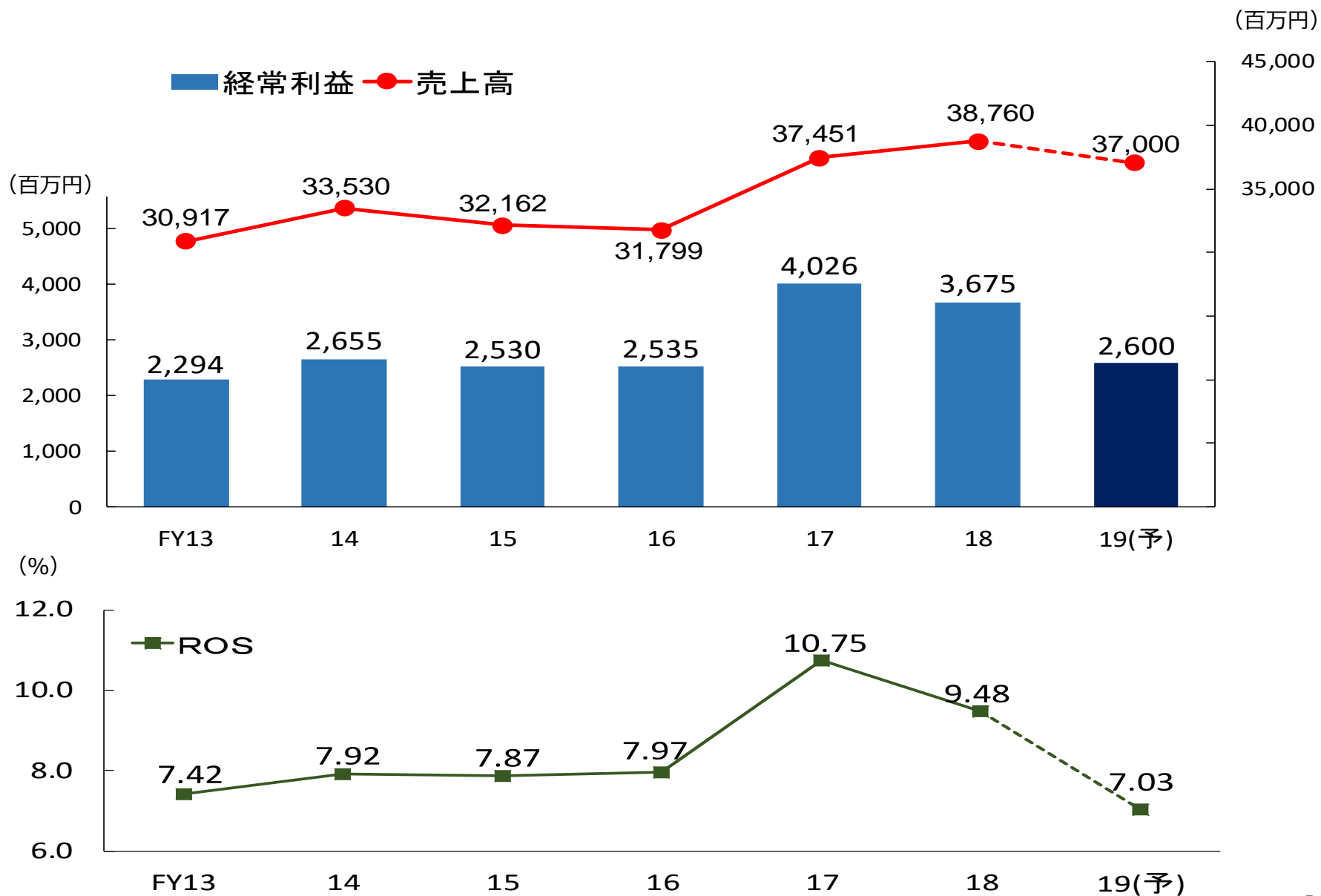
(百万円)

NSR20(18年度) 経常利益		4,200	
対比変化	営業損益	Ni市況	- / +300
		数量変化	▲ 150 / -
		内容差	▲ 845 / -
		固定費	- / +50
		合計	▲ 995 / +350
	営業外損益	- / +120	
19年3月期経常利益		3,675(▲ 525)	

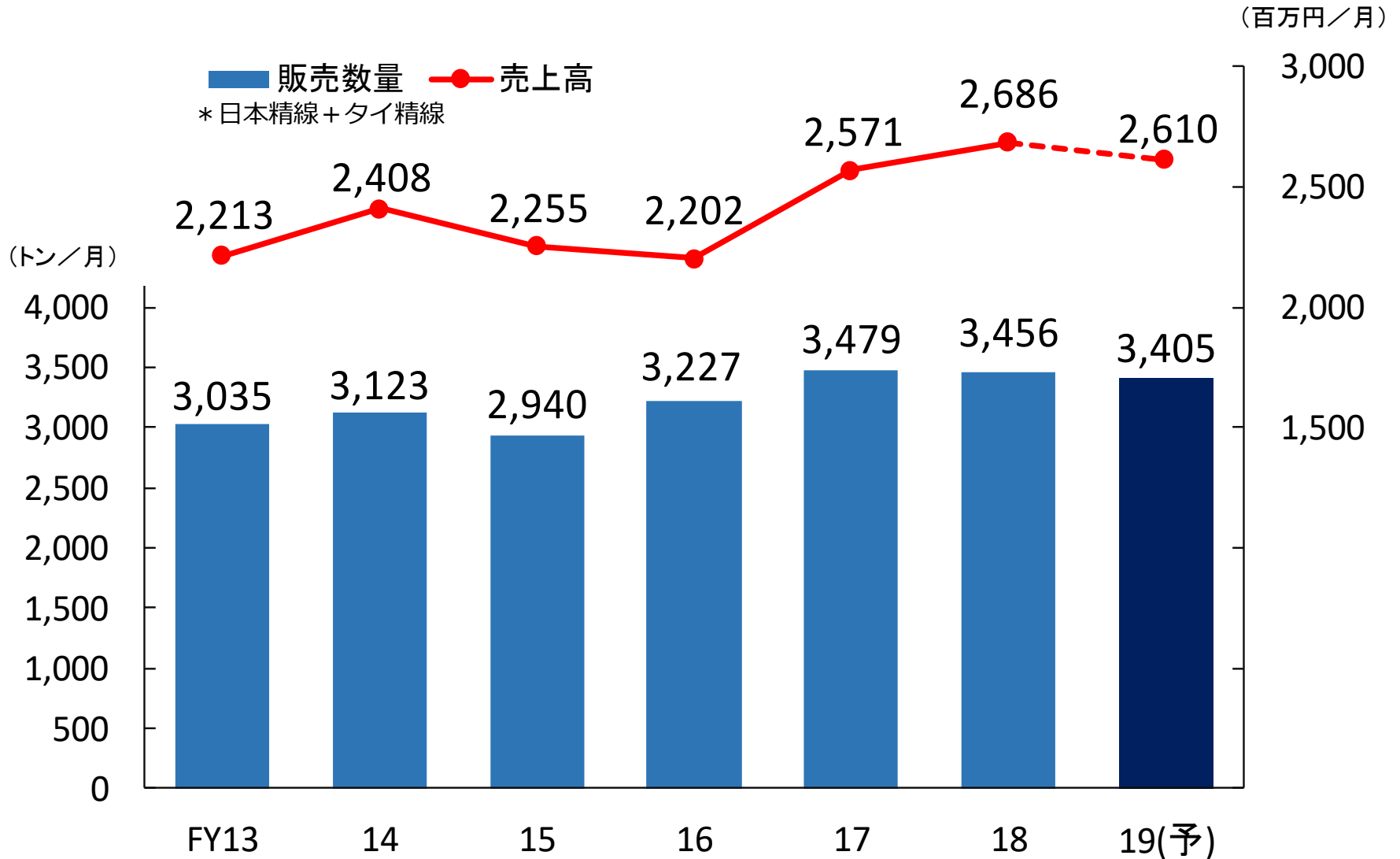
総資産・純資産・自己資本比率



19年度 連結業績見通し

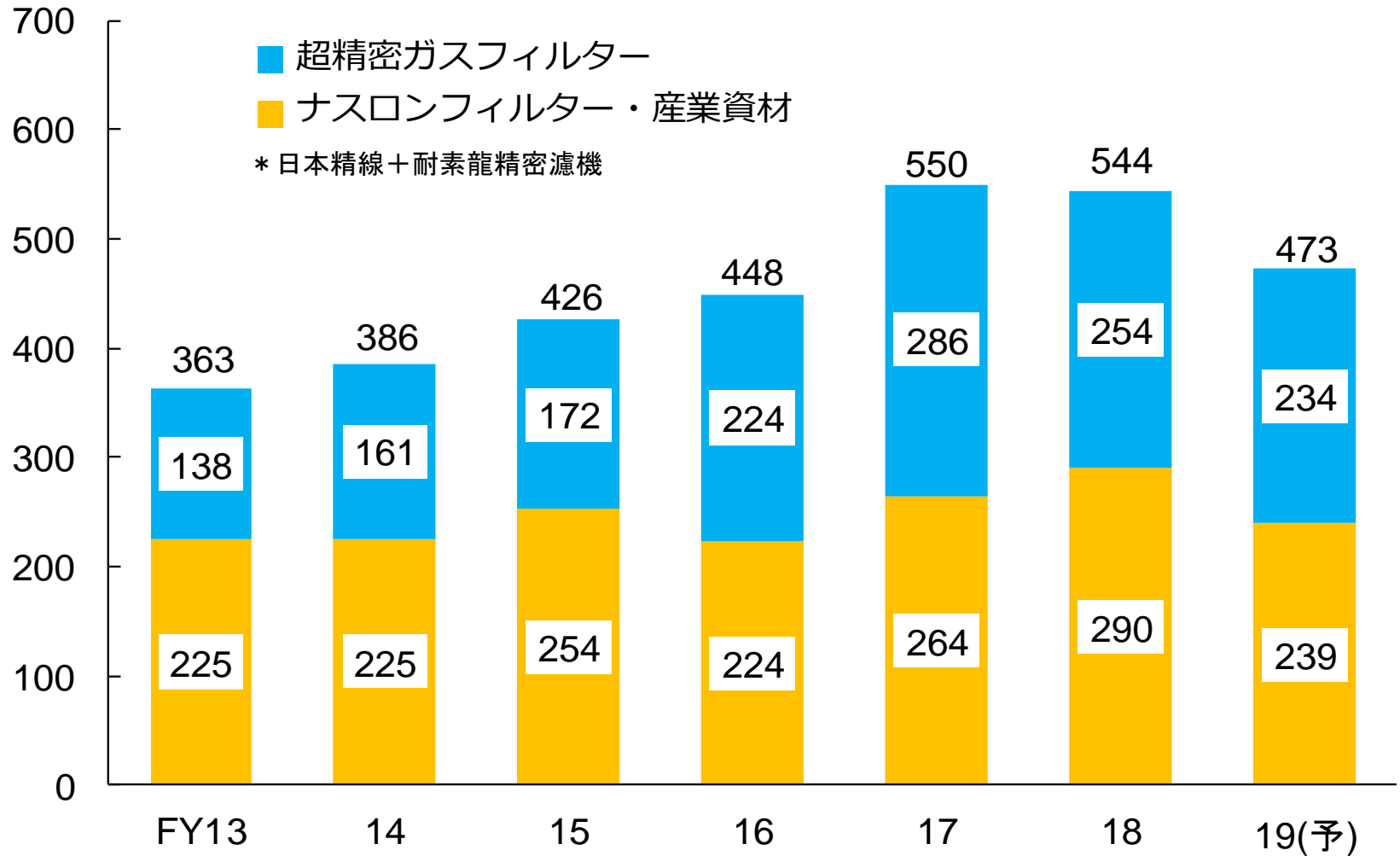


部門別売上高の見通し(ステンレス鋼線)



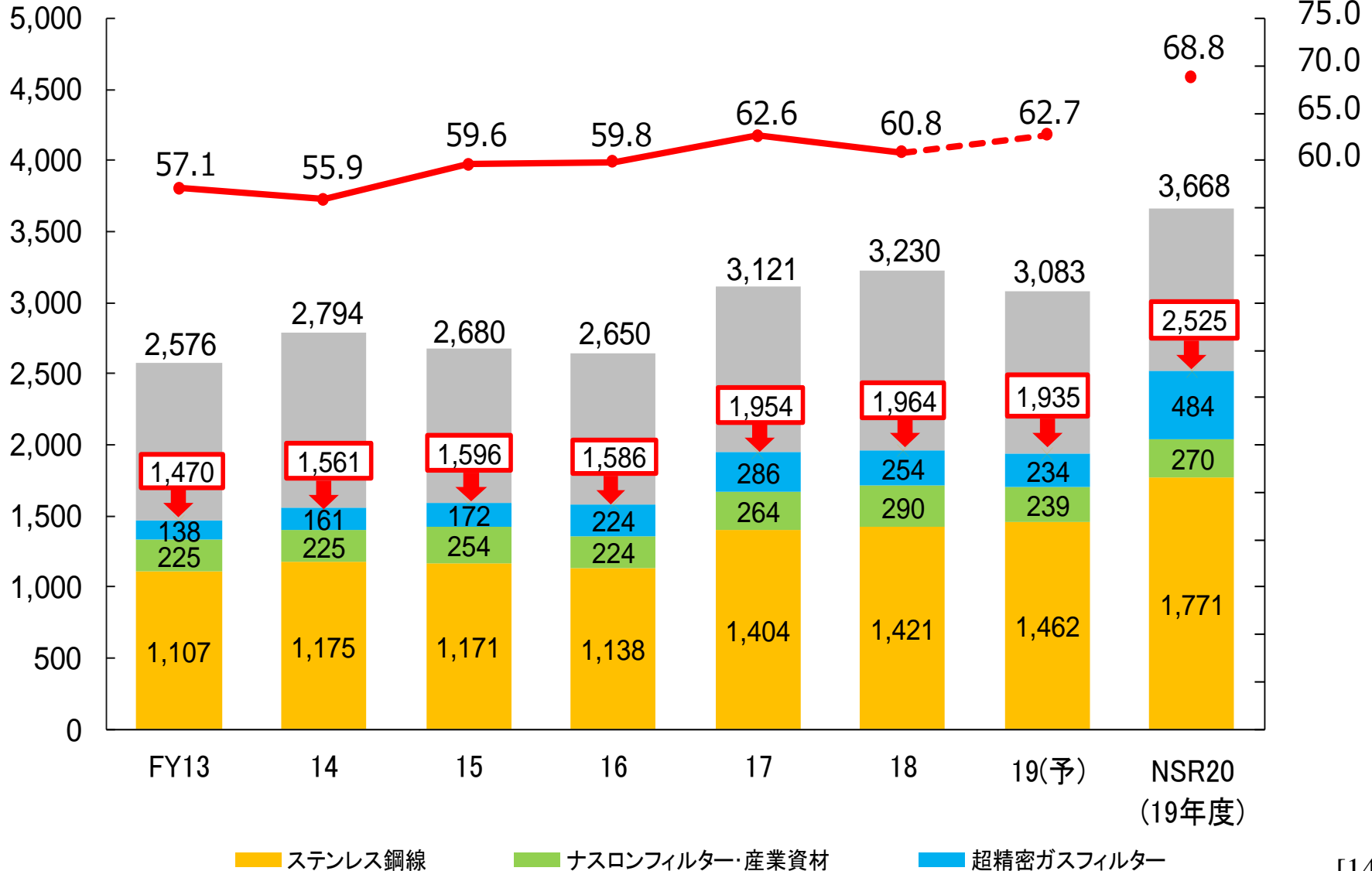
部門別売上高の見通し(金属繊維)

(百万円/月)



高機能・独自製品売上高の見通し

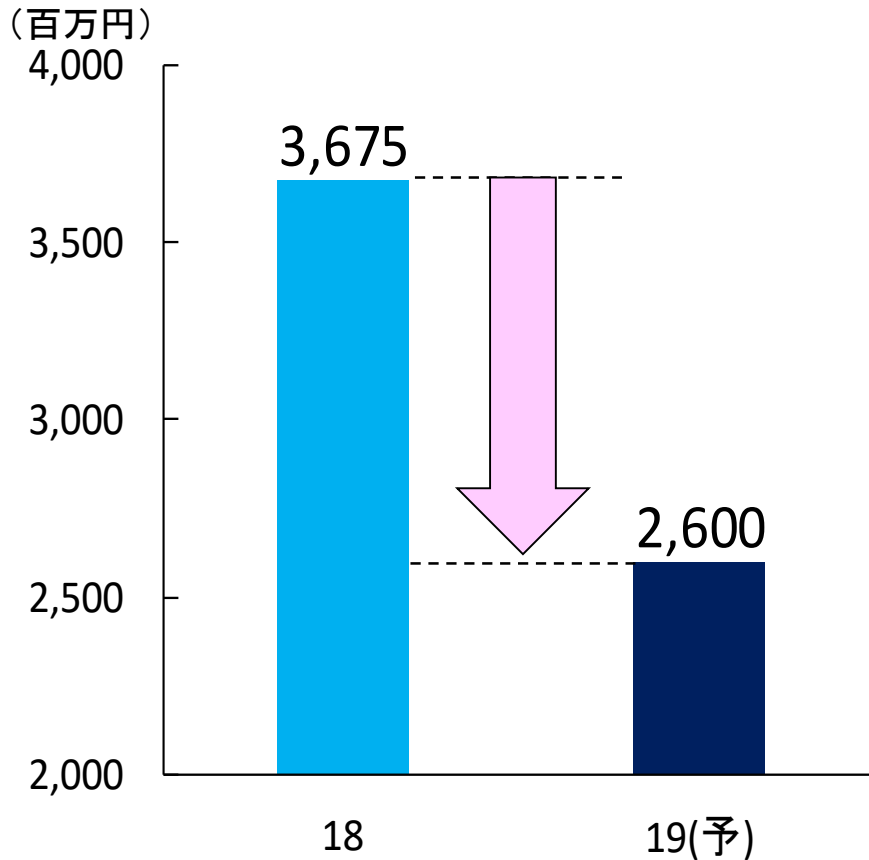
(百万円/月)



経常利益の変化要因(次期予想当期対比)

【ロッド価格の前提】

	Ni(\$/lb)	為替(円/\$)
18年度	5.9	111.9
19年度	5.6	111.0



19年3月期経常利益		3,675		
対比変化	営業損益	Ni市況	▲ 400	-
		数量変化	▲ 100	-
		内容差	▲ 455	-
		固定費	-	-
		合計	▲ 955	-
	営業外損益	▲ 120	-	
20年3月期経常利益		2,600(▲1,075)		

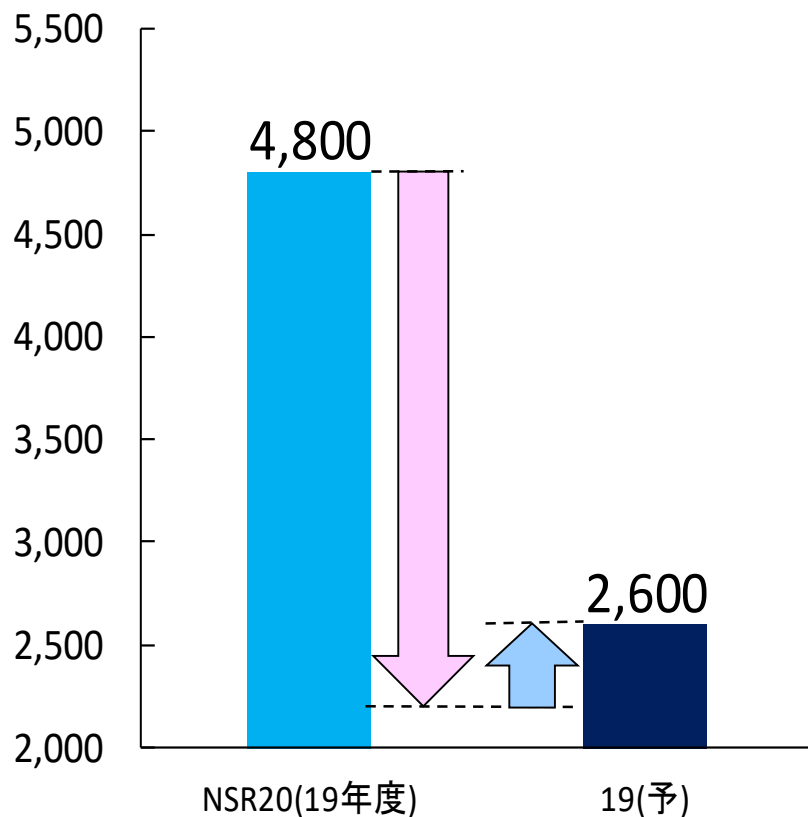
(百万円)

経常利益の変化要因(次期予想中計対比)

【ロッド価格の前提】

	Ni(\$/lb)	為替(円/\$)
NSR20	6.1	109.4
19年度	5.6	111.0

(百万円)

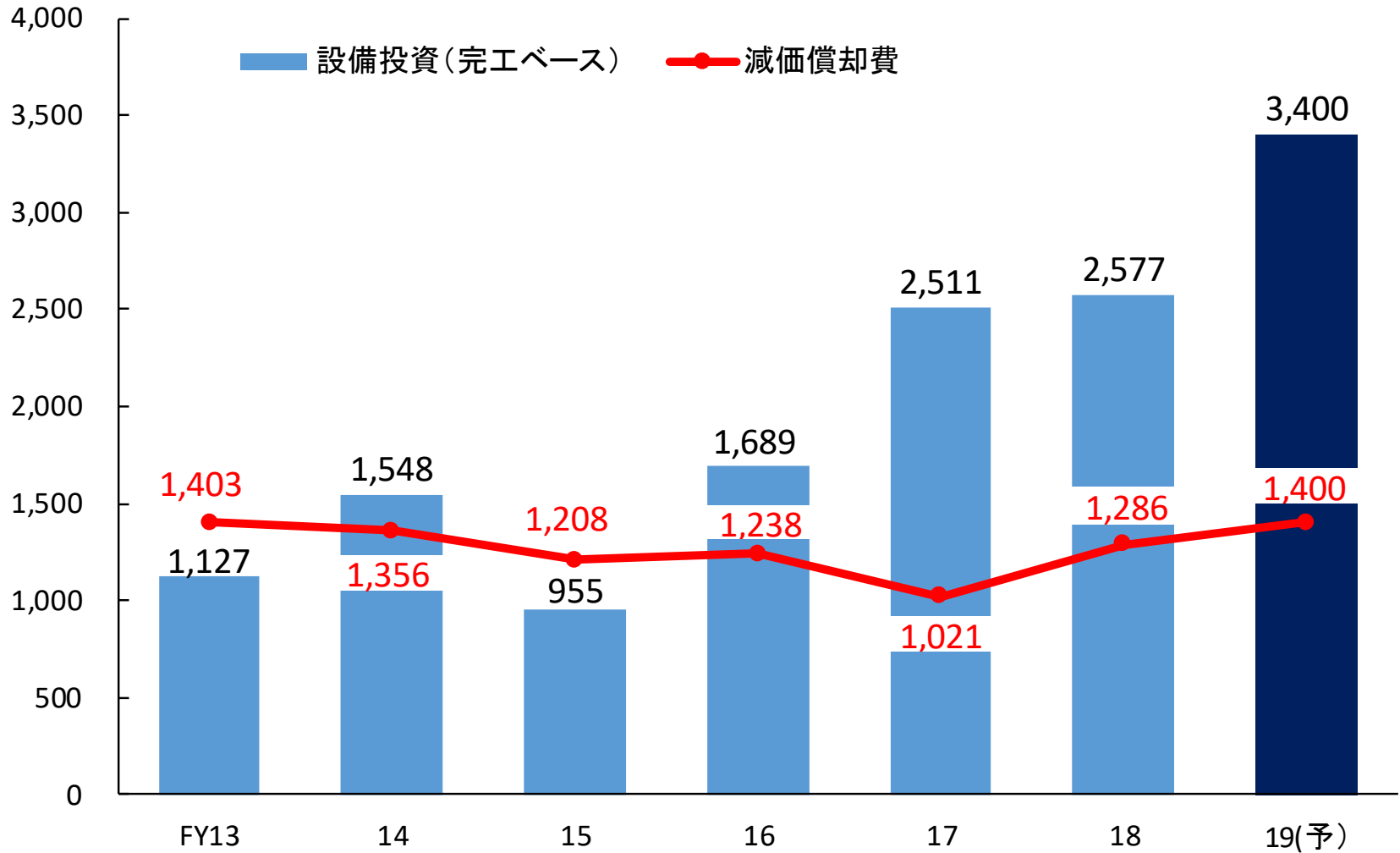


(百万円)

NSR20(19年度)		4,800	
対比変化	営業損益	Ni市況	-
		数量変化	▲ 920
		内容差	▲ 1,700
		固定費	-
		合計	▲ 2,620
	営業外損益	-	+300
20年3月期経常利益		2,600(▲2,200)	

設備投資・減価償却費の推移

(百万円)



	18年度		19年度	
	中間期	通期	中間期	通期(予想)
経常利益 (百万円)	2,222	3,675	1,000	2,600
当期純利益 (百万円)	1,553	2,635	700	1,820
配当 (円/株)	70	130	50	100
配当性向 (%)	27.6	30.3	43.8	33.7

[株主還元の考え方] 連結配当性向30%程度を目途に還元

リニューアル・合理化工事

- * 東大阪工場 新自動酸洗設備立ち上げ
- * 枚方工場 製品倉庫集約・新設と物流合理化着手

タイ精線 増産対応

- * 電磁SUS、極細線、ばね材の設備投資

働き方改革と労働生産性向上

- * 時間管理システム導入など、IT戦力化



(注記)

本資料に記述されております業績見通し等の数値につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいております。

今後発生する状況の変化によっては異なる業績結果となることも予想されますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えて頂きますようお願いいたします。

また今後予告なしに予想数字が変更されることがあります。本資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、各自の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、弊社は何らの責任を負うものではありませんのでご了承ください。